

第23期第8回常任理事会議事録

日時 昭和60年4月22日(月) 13:30~17:00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元, 浅井, 竹内, 花房, 松野, 土屋, 春日,
田宮, 吉野

議題

A. 報告事項

1. 第23期第7回常任理事会議事録の確認について
一部訂正のうえ確認された。

2. 各委員会報告

[庶務]

- (1) 日本学術会議第13期研究連絡委員会委員の委嘱手続きについて
- (2) 第13期日本学術会議会員の候補者の資格の認定について
- (3) 部外財団等の各賞受賞候補者の推薦及び研究助成公募の案内等について

[会計]

- (1) 3月分の収支について
- (2) 昭和59年度第四半期の収支状況について
- (3) 4月9日(金)昭和59年度の業務, 会計監査が行われた。

[講演企画]

- (1) 秋季大会予稿集は8月22日締め切り, 23日にプログラムの編成を行う。
- (2) 転勤等に伴い委員の交替が必要である。適当な後任を選んで次回承認を得たい。
- (3) プログラム申し込み要領のうち, 項目を一部変更する。
- (4) 月例会を春の大会を利用して開催することを検討している。

[学術会議]

4月22日(月)13時から日本学術会議第13期気象学研究連絡委員会委員の推薦委員会を開き, 原案を作成した。なお, この原案で理事会にはかかることにした。

[天気編集]

4月号の目次および5, 6月号の予定内容について

B. 審議事項

1. 昭和60年度総会および理事会の議題について

- (1) 昭和59年度事業報告(案)について
- (2) 昭和60年度事業計画(案)について

庶務理事から資料にもとづき内容説明があり, 修

正すべき点を理事会までに手直しすることで了承された。

- (3) 昭和60年度予算(案)について

財産目録, 在庫調, 予算(案), 収支決算書について資料にもとづいて説明があり承認された。

2. 寄付金の取扱いについて

山元会員から50万円の寄付があり, 寄付者の意志により国際学術交流委員会において使途を検討する。

また, 寄付金の取扱いについては, 定款第44条中に寄付者の指定に従う旨の規定があることが確認され

- (1) 寄付者に礼状をだす
- (2) 寄付者の姓名を機関誌「天気」に掲載する等のことのが了承された。

3. 1989年 IAMAP 総会の日本開催に立候補する件について

予算等の概略について浅井理事から説明があった。

この場合

主催: 日本学術会議及び日本気象学会

後援: 文部省及び気象庁

となることが予想される。

開催に至る手続きとして今年の総会で立候補し, 開催の承認を得る一方, 常任理事会, 理事会, 日本気象学会総会の承認を得る必要があるが, しかるべき段階で準備委員会を設置し, 組織委員会の設置, 気象庁の後援のとりつけ, 募金等について検討をはじめめる必要がある。

以上のことにつき検討の結果, 常任理事会は立候補することを了承した。

4. 国際学術交流について

- (1) 委員の交替及び追加

竹内清秀委員から柳原一夫委員に, 鍋島義夫委員から吉田泰治委員に交替する。

ただし, 竹内清秀委員は所属変更で残留する。片山昭委員, 立平良三委員を追加する。

以上が承認された。

- (2) 国際学術交流事業について, 及び国際学術交流基金運用規定について資料にもとづき説明があった。

検討の結果, 運用規程を運用要領と改め, 内容の一部を修正し, この要領により, 1, 2年運用する。その後総会の議決を経て細則に入れることが了承された。

- また、国際学術交流事業について、及び国際学術交流基金運用要領の「天気」掲載が承認された。
5. 名誉会員制度について
理事会において発言し、理事の意向を確認する。
 6. 弔事内規については継続審議する。
 7. 常任理事等の辞任申し出について
理事会に諮り受理された場合、常任理事会として東京在住の非常任理事を常任理事として推薦する。
 8. 数値予報シンポジウムについて
proceedings の出版について前向き姿勢で検討する。
 9. 会員の新規加入の承認について
個人会員若松俊男ほか32名の新規加入および賛助会員ダン産業株式会社の新規加入が承認された。
 10. その他
4月の大量異動に伴う住所変更作業が遅れているが、近日中に完了する見込みである。

日本気象学会誌 気象集誌

第II輯 第63巻 第2号 1985年4月

- 松浦知徳・山形俊男：f面上の円柱をよぎる粘性流の数値的研究
 玉木克美・宇加治一雄：アンブリチュード・パシレーション状態下にある回転流体中の熱輸送と帯状平均温度場
 田中 博：3次元ノーマルモード関数展開を用いた FGGE 冬期の全球エネルギー解析
 G. Love：北西太平洋域における海面水温、海面気圧及び雲量の月平均場の間の線形関係の研究
 石原正仁：MONEX 期間中に西太平洋赤道付近において観測されたレーダーエコーの統計的解析
 藤部文昭：陸風が吹き出す際の局地前線に伴う地上の大気汚染
 大西外史・尾原信雄：相模平野における冬の海陸風について 1. 二次元モデル
 佐粧純男・松尾敬世：雪片の併合成長に及ぼす落下速度の変動効果
 高橋 勣：水の表面水と雷雲電荷発生機構
 M.P. McCormick, P. Hamill and U.O. Farrukh: SAM II, SAGE およびライダーにより観測された極域成層圏雲の特性

要報と質疑

- 高木増美・森田恭弘・岩田 晃・近藤 豊：成層圏エアロゾルの観測手法について
 岩坂泰信：南極昭和基地 (69.00°S, 39.35°E) における成層圏エアロゾル層のライダー観測
 内野 修：エルチチオンダスト粒子の下部成層圏における拡散過程
 広野求和・藤原 昇・藤原玄夫・柴田 隆：2波長ライダーと気球搭載測器により測定されたエアロゾルの特性の比較
 広野求和・柴田 隆・藤原玄夫：火山変動とエル・ニーニョ南方振動の関連の可能性—大気中の火山性エアロゾルのライダー観測
 R.M. Nagatani, M.P. McCormick and L.R. McMaster: 1979年2～3月における成層圏突然昇温期間中のSAGE I データの比較
 D.G. Murcray, F.H. Murcray, F.J. Murcray and G. Vanasse: 高分解大気放射測定
 岩上直幹・小川利紘・柴崎和夫：成層圏 NO₂ の気球観測
 松崎章好・伊藤富造・中村良治：人工衛星おおぞら (EXOS-C) 搭載 LAS (Limbatmospheric Infrared Spectrometer)
 小川利紘・鈴木勝久・高野元春・中村正年：2.0_μm 帯 Q 枝吸収による大気メタン量の測定
 松尾敬世・榊原 均・青柳二郎・松浦和夫：融解層付近に現れる大気の冷却現象
 久芳奈達美・武田喬男：雲核の密度が雲粒の数密度に及ぼす効果についてのノート
 竹内利雄・河崎善一郎・舟木数樹・北川信一郎・J. ヒューセ：正極性落雷を発生する雷雲について